

池田 東一郎 町長による町政報告会（第 1 回目）議事要旨

- ◆ 日 時：令和 7 年 4 月 26 日（土）13:30～15:30
- ◆ 場 所：国府支所 2 階会議室
- ◆ 内 容：令和 7 年度の主な事業と予算
- ◆ 概 要：資料説明後、参加者からの質疑応答を実施

質問 1 通いの場に関する質問

身体が動く人は、グラウンドゴルフなどに参加できると思いますが、寝たきりの人や心不全等で外出することが難しい人に対しての簡単な運動などを考えています。

また、実施にあたっては、音楽を組み合わせるとより良いのではないかと考えていますが、著作権等の課題などもあることから良いアイデアがあれば教えていただきたい。

回答 1

通いの場を設定していますので、出来る限りその中でやっていただきたいと思います。

通いの場が進んでいる二宮町では14箇所（地区）で実施しています。

二宮町の通いの場では、前半部分で体操のビデオを見ながら立ってやる体操、座ってやる体操、タオルを使った体操などをそれぞれの箇所（地区）で実施した後に、お茶したり、ゲームしたりと様々な取組みを行っています。

また、二宮町では健康体操のグループが通いの場を回って体操をリードするような取組みも併せて行っています。

大磯町では集まる場所があまりなかったため、第 1 段階として各地区に集まる場所を増やすような取組みを進めています。現時点では、通いの場を 9 箇所で設けており、そこで体操などの取組みを始めています。大磯町内にも骨太体操のグループをはじめ、ボランティアのグループがありますので、今年度はそういったグループに通いの場を回っていただけたところまで進めて行きたいと考えています。

もう 1 つ大切なのは、二宮町も同様に通いの場に行けなくなってしまった人が出てきますので、こちらからご自宅まで伺う必要があります。二宮町では包括支援センターの保健師や職員の方が回っていますが、大磯町では体制が整っていない状況ですので、その部分に関しても調整していきたいと考えています。

質問 2 人口減少に関する質問

人口減少の問題は、大磯だけに限らず全国的な課題であると認識しています。人口減少が進むことで病院や商店なども衰退していき、人口が多い自治体に人が集中することになることから、税収アップ、人口を増加させる取組みが必要になります。

そのため、子育て世帯の転入を促すためには、「職」を増やすことが重要なので、近隣の二宮町、中井町等の自治体と連携し、面的に工場を誘致する必要があると考えています。先

ほどの説明では、住んでからは満足度があるとのことでしたが、移住先に大磯町を選んでいただくためには、どのような取組みが必要か教えていただきたい。

回答 2

約3万3千人が大磯町の人口のピークであると説明しましたが、かつては平塚市に日産自動車、大磯町に日本NCR、ジョンソンなどといった大きな事業所がありましたので、通っている人も含め、多くなっていたのではないかと思います。

現状では、日産自動車の縮小、日本NCR、ジョンソンも撤退しており、そこに代わる事業所を誘致するのは厳しいと考えています。

なお、大磯町で雇用を考えた時に、「農業」、「漁業」が可能性として挙げられるのではないかと考えています。最近では若い人たちが新しく参入してきているため、販路を拡大するために学校の給食に地場産品を使用できるように調整を進めています。

さらに、ふるさと納税の返礼品に野菜や魚等を追加する取組みを並行して進めていますので、全国への販路拡大につなげたいと考えています。

他には、リモートワークができる環境を増やしていくことや大磯の最大の課題である利便性の向上のために、公共交通機関やタクシー会社とも連携しながら、駅へのアクセスを良くすることが必要だと考えています。

質問 3 企業との連携に関する質問

朝日新聞等でも新聞事業は赤字ですが、デジタルの新聞や広告収入等で赤字の部分をまかなっています。大磯のブランド力を生かして、大手の会社と提携し、広告収入の増加に向けた取組みを行うことが戦略として必要ではないかと思います。

回答 3

様々な企業と協定を結ぶための努力をしているところであり、実際に協定締結を進めています。私からも様々なタイミングで企業に対して、大磯をPRしてもらえよう働きかけをしています。また、実証実験の場として大磯町を活用してもらえよう企業に投げ掛けも行っています。

質問 4 シルバーパスに関する質問

昨年の町政報告会でシルバーパスについて質問をさせていただいた際に、令和7年度に向けて検討しているとの回答をいただきましたが、進捗状況を教えていただきたい。

回答 4

タクシー券を拡充する方向で調整を進めており、令和7年度から対象地域の拡充を行っています。しかしながら、タクシー会社との調整の中で運転手不足等の課題も出てきているため、町としても運転手の確保に向けた取組みを後押するなど、他の地域でも導入できるようにしていきたいと考えています。そのため、利便性の悪い一部の地域でタクシー券を配布するところまでしか対応出来ていない状況です。

質問 5 高齢者予防接種事業（带状疱疹）に関する質問

コロナワクチンの予防接種は行わないのでしょうか。

回答 5

コロナワクチンもありますが、無料ではなくなっています。

また、带状疱疹ワクチン以外にも予防接種はありますが、新しく 4 月から始まったワクチンを紹介させていただきました。

質問 6 大磯式部活動の予算に関する質問

大磯式部活動の予算についての記事を朝日新聞で拝見しましたが、その後の予算状況について教えていただきたい。

回答 6

大磯式部活動の予算を町議会が減額した記事のことだと思います。

予算採決の際に、町議会が予算を修正して可決したものになります。いくつか修正のポイントがありましたが、大磯式部活動の予算が金額的には一番大きく、約 500 万円を減額した形となります。

大磯式部活動は昨年からスタートした大変好評の取組みですが、部活動に携わる先生方が 2 人になった場合でも謝金が支払えるようにしてほしいとの要望を受け、町役場としては予算の増額を提案しましたが、説明不足や必要性が理解できない等の理由から予算が減額されています。

質問 7 役場本庁舎の耐震調査費用に関する質問

町長が実施を検討していた耐震調査費用はいくらでしょうか。

回答 7

約 2,500 万円だったと記憶しています。耐震診断をきちんと行い、耐震強度を確認したうえで、耐震補強が可能であれば実施するという趣旨で議会に予算を提案しましたが、議会から否決されています。現庁舎は耐震補強できるかもしれませんが、現敷地内で新庁舎を建て替えるというのが議会の意向となっています。

質問 8 人口減少に関する質問

自然減少について、出生が少ないことが根本的な問題であると思います。

若者の雇用を増やすといった施策を説明していましたが、20 歳代の転出が課題であり、その世代を町に留め結婚、妊娠、出産につなげていく必要があるのではないかと考えています。出生に対する考えや施策があれば教えていただきたい。

回答 8

出生の対策としては、産前・産後ヘルパー事業が重要な役割を担う政策となりますが、出生数を増やしていくのは厳しいと考えています。その理由として、大磯ではマンションの建設に制約があるため大磯に転入する人の大半は一戸建てとなります。結婚してすぐに一戸建てに住める人はあまりいないことから、結婚したてのカップルが転入しづらい土地柄だと思います。

一方で、近隣の茅ヶ崎市や藤沢市ではマンションを建てることのできるため、人口が増加しています。

そのため、大磯町としては他自治体でこどもを産んで、一戸建てに住むタイミングのファミリー層をターゲットとした政策を進めて行く必要があると考えています。

質問 9 人口減少に関する質問

長期的な視点で考え、他力ではなく、町長として5年後に人口の増減を含めどういったことを目標としているのでしょうか。また、20歳代が転出するのは働く場所がないことが課題としてあると思いますので、対策があれば教えていただきたい。

回答 9

人口を増やすためには、産まれてくる赤ちゃんと亡くなる人の差である 397 人をうめていくのに、出生の面では 400 人も増やさなければいけませんので、現実的に難しいと認識しています。減っていくことは仕方のないことだと思いますが、その中でもなるべく減らないようにしていく必要があると考え、歯止めをかけていくという表現をしています。

大磯町としては、ファミリー層に転入していただくことをめざしますが、就職するタイミングで若い世代が町外に転出することは避けられない状況であると考えています。

質問 10 人口減少に関する質問

大磯町から転出した20歳代の若い世代が40～50歳代になった時に戻ってくることはありますか。

回答 10

その世代の転入の増加は一番めざしているところです。成人式に参加の新成人に対して、大磯町に戻ってきてもらえるよう直接働きかけを行っています。

質問 11 新庁舎整備に係る町の借金に関する質問

50億円の借金が増えると町民生活にどのような影響があるのか教えていただきたい。

回答 11

借金が町財政に与えるインパクトについては、例えば、50億円借りる場合は、30年で返済するのが一般的です。そこに利子が上乗せされますので、50億円借りると約60億円返済する

こ

とになり、1年間で2億円を毎年返済していくことになります。そうすると、他の予算を削らないといけませんので、その分町民サービスを減らさないといけなくなります。各地区の地域会館や消防庁舎、学校施設などの建替え等も控えていることからやりくりが必要になります。

運動公園の整備に約100億円かかりましたが、その時の借金は30年ほどで完済しています。その間も運動公園の整備がなければ、他の町民サービスを提供できたかもしれません。

現在の町が実質的に還さなければいけない借金は、2億4千万円しかありませんが、50億円に増えることになります。

質問 12 建替え場所に関する質問

現在の敷地は作業スペースが手狭のため作業効率が悪く経費が増加すること、また、駐車場を別に借りて送迎を行うための経費が別でかかります。例えば、運動公園南側の駐車場に新庁舎を建てれば高台になりますので、経費を削減できるのではないかと思います。

また、3万人の人口で考えた時に、国府支所があると助かる部分はありますが、2つを統合して中間地点に建てる考え方もあるのではないかと思います。場所を含めて再検討は出来るのでしょうか。

回答 12

町役場を現在の敷地内に建て替えることを町議会が決議しています。その結論に対して違う方向性で進めるのは私の立場では難しいと思います。ただ、一旦移転して今のところをしっかりと整えたうえで、建替えを行う方が安価になるかもしれません。

質問 13 議会の決議に関する質問

議会の決議は場所と金額の問題がセットになっていると思いますが、決議したあとに建設費用が増加するなど、条件が変わっていますので、改めて議会に諮る必要があるのではないのでしょうか。

回答 13

私から議会に対して決議をやめるようなことを言う立場にありませんが、要望としては受け止めさせていただきます。

町議会の報告会もありますので、改めてお伝えしていただくのが良いのではないかと思います。

質問 14 建替え場所に関する質問

議会が現庁舎の場所に建て替えることを決定しているとのことですが、それを覆す方法はあるのでしょうか。例えば、署名運動を行う場合は、町民の何パーセントの署名が必要になるのでしょうか。

回答 14

地方自治法の中に、直接請求制度がありますので、確認いただければと思います。

質問 15 新庁舎に関する質問

日本各地で地震が発生しており、南海トラフ地震も噂されていますが、新しい庁舎の設計に問題はないのでしょうか。

回答 15

耐震に関する数値指標がありますが、震度7の地震でも耐えられる庁舎となります。

しかしながら、いつできるのかが大変重要であり、現在の予定だと令和11年の10月になります。その間に地震が起こった場合は耐えられないことから、安全に身を寄せることができる場所も併せて検討しています。

質問 16 新庁舎のデジタル関係の費用に関する質問

デジタル関係の内容について教えていただきたい。

回答 16

庁内で使用するデジタルサイネージ等の備品などの費用については含まれていないため、もう少し金額がかかると想定しています。

質問 17 建替え場所に関する質問

平面図と現況を比較すると、建替えは出来ないのではないかと感じました。そういった課題から企業も手挙げをしなかったのではないのでしょうか。また、他の広い場所で整備した方が安価で済むのではないのでしょうか。

回答 17

企業が手上げをしなかった理由の1つとして、作業面積の狭さなどの課題がヒアリング結果にありました。

質問 18 新庁舎の耐用年数に関する質問

耐用年数はどのくらいでしょうか。

回答 18

一般的には、約50～60年と言われています。場合によっては、今の建物はよく出来ているので長く持つかもしれませんが、海の近くに建設することから少し状況は変わるかもしれません。

質問 19 災害時の代替施設（ノジマ大磯スクウェア）に関する質問

ノジマ大磯スクウェアが災害時の庁舎になると聞いていますが、詳細を教えてください。

回答 19

大災害時、町役場が機能しなくなった場合に代替の庁舎として、ノジマ大磯スクウェアを活用できるよう協定を締結しています。広さは約 5,000 m²で概ね町役場の敷地と同じくらいの広さです。

質問 20 消防署と本庁舎の複合化に関する質問

消防署や学校施設の建替え費用はいくらでしょうか。また、本庁舎と消防署を一体的に整備することは可能でしょうか。

回答 20

消防署と本庁舎の複合化も検討していましたが、現在の敷地では出来ないため別々の場所を整備すること予定しています。

質問 21 新庁舎整備に係る借金に関する質問

町民の負担という部分が気になっています。町民サービスの一部を削る必要があるとのことでしたが、町民サービスの内容によっても考え方は変わってくると思います。新庁舎を整備することで、必要な町民サービスが提供されないのは本末転倒であり、町民も納得しないと思います。

回答 21

50億円の借金が増えると、利子も含め毎年約2億円を返済することになります。そうすると予算全体が増えない限りは、町民サービスを削る必要が出てきます。現状では、インフレ気味で税収が上がっている側面もありますので、現在の2億円と10年後、20年後ではお金の価値が違いますが、現在の価格で考えると30年間で毎年約2億円を返済することになります。どの予算を削減するかは、その時の状況に応じて考えることになります。

質問 22 資金運用に関する質問

町長が就任してから普通預金から債権に運用を変えて、収入が増えたと聞いていますが、詳細を教えてください。

回答 22

令和6年度から運用を開始して、数百万円単位で収入が増えている状況です。新たな手法等を取り入れていくことで2億円のやりくりも出来るかもしれません。

質問 23 国府橋の整備に関する質問

国府橋が完成しましたが、橋の側にある電柱が残っているのが気になります。撤去はしないのでしょうか。

回答 23

国府橋は完成していますが、まだ完全に工事は終わっていません。

今年度、引き続き橋の周りの町道の整備等を行いますので、もう少し状況を見守っていた

だきたいと思います。

質問 24 資金運用に関する質問

町長が自ら資金運用を行っているのでしょうか。世の中的に景気が目まぐるしく動いていますが、元本割れなどのリスクはないのでしょうか。

回答 24

会計課という部署で運用を行っています。基本的には株では運用せず、定期預金や都道府県の債券、国債など公共的なものに限定して運用を行っています。なお、元本割れしないものを購入していますので心配はありません。

質問 25 郵送物に関する質問

郵送物に関しては、民間企業でも節約していますので、なるべく小さい封筒にしたり、メールで対応できるものは変えていくなどの工夫をした方が良いと思います。

回答 25

昨年から職員に対して指示していますが、なるべく小さい封筒を活用したり、メールで対応するなどの対応を改めて共有したいと思います。

質問 26 新庁舎整備に関する質問

なるべくペーパーレス化を進めることで、紙の保管場所を削減するなど延べ床面積を小さくすることも検討していただきたい。

回答 26

改めて点検したいと思います。

質問 27 町政報告会の予約方法に関する質問

町民説明会の受付が電話のみになっているため、メールでも受付できるようにしていただきたい。

回答 27

来年からはメールでも受付できるようにしたいと思います。